

読者の声



風船爆弾想起

水谷 勝彦

最近、人が乗った色とりどりの遊覧風球が空中散歩を楽しんでいる光景をTVで見て、戦時中の日本の風船爆弾を想起してしまっ...

昭和19年から昭和20年の戦争末期にかけて、米国のB29による連日の爆撃により、木造住宅が密集している東京、大阪、名古屋などの大都市がほとんど焼失。国民が戦意を喪失した。

政府と軍部はそれを解消し、戦争を継続するため、米国に何かで報復する手段はないかと考え、思いついたのが風船爆弾であった。

中学校の体育館で中学生を動員して、紙をのりで幾重にも貼り合わせ、直径10センチほどの大きな球体を作った。そこに水素ガスを詰め、爆弾を吊るし宮城、福島の太平洋沿岸から数百個放った。風船は1万メートルの成層圏まで上昇し、偏西風により米国西部地域に数十個が到達。森林や民家が炎上した。私は当時小学5年生で、その報道を新聞やラジオで実際に聞き、うれしく思った。愛知県にも風船爆弾製作に従事した中学校が1、2校あったと思う。

白い景色

山田 勝子

カーテンを開き、ベランダに出た。「ウーン」目の錯覚かと思った。辺りは一面真っ白の世界に息をのんだ。

一夜でこの芸術作品を手掛けたのは誰? 冬將軍の手柄。目が点になり、この白の世界にすっかり引き込まれた。

私の胸をよぎったのは、今はなき国「満州国」。7、8歳頃まで、冬はこの白の世界を見ていたのだ。身の丈の何倍もの雪の壁をものともせず、肩から掛けたスケート靴を揺らし、家の前の川へ出掛けていった。

家族に感謝

中村区福寿会 太田 鈴江

去年思いもよらぬ病に倒れ、軽い梗塞で切れてはならず、詰まっただけと診断されました。鶏飼りハビリテーション病院に4月、5月と2カ月間入院。毎日、言葉や作業、理学療法など、スタッフの熱心な指導で頑張ってきました。コロナ禍で家族に会えず、携帯電話で用事を済ましておりました。初めてのことで不安でしたが、スタッフの皆さんは親切で、本当によくしてくださり、頭が下がりました。私は花が好きでいろいろ作っています。家族は花が咲いた写真や手紙を届けてくれました。気を使ってくれたことを申しわけ

小さな流れはすっかり凍り付き、私の体重にはビクともしない。ちよつとよい練習場というか、転んでいただけだったかも?

そんな思い出に浸っていた私。すっかりと冷えきった身体を部屋の中へ。次々と巡り来る思い出は続くが、この辺でおあずけとしよう。遠くで「マーチョ」の鈴音が今も耳に残る。身体が温まり、現実に戻った私。思い出は尽きぬ朝のひとときです。

(注) マーチョは馬車のこと



なく思っております。

私は3年前に主人を亡くし、今は息子の家族と暮らしています。月日が過ぎても以前のようにありません。なるべく迷惑をかけないよう、またボケ防止のため3度の食事は自分で作っております。今までは何でも自分でやり、すぐ自転車を出掛けていましたが、それができないから悔しいです。

少し遠い友達と会うことができず、電話でやりとりしております。近くの親友がよく家へ来てくれたり、電話してくれたりするので、本当にうれしいです。私も動けますからできることは自分でやり、買い物と医者は嫁の世話になっております。病気になる、初めて家族のありがたさが分かり、私は幸せと思つて毎日感謝しております。これからもよろしくお願ひします。

テーマ投稿 7月号のテーマ

幸福な散歩道

千種区京命扇寿クラブ 竹本 脩

私の趣味は散歩です。散歩は多くの人が楽しんでいて、平凡なことと思つていました。一人て散歩をして、意外と楽しいことが多くあることに気がきました。

春になれば桜花が美しく、ピンクの花びらが舞い散る中の散歩は夢のようです。夏は目に青葉がきれいですし、秋は紅葉が一段とさえわたります。冬期には6つの花白雪が見られるのです。

また、道すがらの草花を見るのもうれしい。春から夏のタンポポの花、秋のおわりに咲く真っ赤なマンジュシヤカ(ヒガンバナ)は素晴らしい。

「聞かせて、おひとりさまを楽しむヒント」

四季を通して小鳥も多く見られ、早朝から元気なハトのさえずりを聞きながらの散歩は最高です。夕べになればかわいいスズメが仲間と交替しながら水浴びをする姿が見られるのです。これからおひとり散歩を続けたいです。

おひとりさまを楽しむヒント

天白区むつみ会 渡辺 順子

趣味は「旅」とはいえ、収入には限りがあり、とにかく毎月外出することを目標に。普段は質素・

「外出する時は思いっきりおしゃれに」

よそ行きの服も、お気に入りの服も着たおしています。先日も新たな友人と3人で新幹線やホテルをスマホで予約し、楽しい「旅」でした。今の楽しみは出かけること。おしゃれをすること。片づけること。とにかくやってみないとわからない。また、海外へ出かける日が来ることを楽しみにして。ワクワクが止まらない。

物価高に負けない! 生活見直し術



「読者のページ」ではテーマも設けています。次号のテーマは「物価高に負けない! 生活見直し術」です。物価上昇で日用品や食料品などの値上げが相次ぎ、家計を大打撃…。それでも何とかやりくりしてします! という方の節約術や、思い切ってこれまでの生活を見直したという方の体験談をお寄せください。

読者の声

コロナも収まり、やっと外出できるようになりましたね!! でも、私が3年の間に、体力が落ち調子が悪いです。困ったものです。でも、皆さまの声を聞かせていただいて元気が出しますね!! (北区H)

いつも楽しく拝読しています。「男性の料理教室」を楽しく読みました。私も挑戦してみたいと考える内容でした。(中村区A)

85歳の母と一緒に頭の体操にクロスワードを楽しんでいます。なるべく母に答えさせようと息子の私がヒントを付け加えています。ズバリ! と即答することがあって驚かされます。(千種区O)

スマホに変えましたがなれません。息子に何度も聞きます。2回から3回聞くと「何回聞くの」と言われます。(港区K)

私たち夫婦は、89歳と83歳です。役員さんが手芸、工作、マージャン、ゲーム、囲碁、散策などいろいろ行事を考えてくださるので、参加を楽しみにしています。「会っておしゃべりするだけでも大切だよ」と言ってくださいます。これからもよろしくお願いします。(天白区O)

当たるといいなあといながら、102歳の母と一緒にクロスワードを解きました。(天白区M)

なごやかひろばで他の老人クラブの活動の様子を知ることができ、良い刺激になりました。(中川区N)